2026-057

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | 小児上腕骨顆上骨折に対する外側傍肘頭刺入法とクロスピンニング法の術後成績および合併症の比較:多施設共同後ろ向き観察研究 |
| 実施責任者 | 所属・職名： 整形外科・手外科　部長 |
| | 氏名： 丹羽　智史 |
| 研究の概要 | 上腕骨顆上骨折の術後回旋変形と臨床成績について<br>外側傍肘頭刺入法とクロスピンニング法で比較を行う |
| 対象となる個人情報 | 年齢、性別、受傷機転、手術法、レントゲン所見<br>術後関節可動域 |
| 実施の期間 | 西暦　2005 年　1 月　1 日より |
| | 西暦　2025 年　12 月　31 日まで |
| 研究対象 | 上記期間内に当院にて上腕骨顆上骨折に対し、手術治療を行った 14 歳以下の症例 |